



隷従女教師

貴方達停学中でしょ!!
こんな夜中に歩いて!
家に早く帰りなさい!!

ちよつと貴方達!!
冗談は止めなさい!
ちよつと...

グシシシ...
この糞アマ前から犯り
たかったんだよなあ

先生... たつぷり
楽しませてもらうよ

源太
今度は壊すなよ
長く楽しむからよw



おお、怖い怖いw
そんなに睨まなくなつて
いいじゃないですか先生w

旦那さんが単身赴任
してるからって
女の身だしなみくらいは
ちゃんとしないといけないよ

腋毛ボーボーw
俺が処理して
あげるよ先生



あはははは

剃るのは

そつちじゃねーしw

子供みたいで
恥ずかしいなあ
先生w

カマ

それじゃあ

そろそろババアの

糞マ○コの

味見でもするか

俺一番ね



それじゃあ

いったただつきまーすw

良かったな先生
小汚い糞マ○コに
若いチ○ポハメて
もらってよお

糞マ○コ奥まで

ヌルヌルじゃねーかw

久しぶりにチ○ポ

ハメてもらえるって

期待してたのか？



おら！ババア！！

俺達の使用済みゴム
さっさとくわえろ！！

今から

記念写真撮って
やるからな

ホラ先生！

笑って笑って

カシヤッ！

アハハすげーマヌケ顔

この写メばら撒かれ
たくなかったら
俺達の言う事聞けよな



そう言えば先生が
気絶してる間に旦那から
携帯にかかって来てたぜ
かけなおしてやるか

あつ後で私が
かけなおすわ

そうだなー

じゃあ源太を後1分以内に
いかせる事が出来なかったら
リダイヤルね
はい！スタート!!

そんな・・・

オマコ
調教中

グッ

グッ

はい！タイムアップ！！
それでは罰として
愛しの旦那様に
テレフォンタイムスタート！！

あつもしもし響子です
電話出れなくて
ゴメンなさいね・・・
ええ大丈夫よ

え？ああ・・・
今運動してるのよ
最近太っちゃって・・・

ハア

ハア

オマコ
調教中

グッ

グッ

ええ・・
私も愛してるわ・・
今度の休み帰って来てね
はい待ってますから・・・
それじゃあ

ガチャッ・・

あへえあへえ
イクイクちゅちゅ

あははは
旦那さんかわいいそうだな
電話の向こうでは
愛妻がアクメ顔を
晒してるんだからなw

オマコ
調教中

イク

イク

翌日・・向井が用意した
露出度の高い服を着て
登校するように命じられた
服装のあまりの変わり様に
生徒や他の教師達の好奇の目に
晒される事となった・・・

それじゃあ出席を取ります・・
相田君 稲本君 石田さん
井上君 大谷さん 川上さん
岸本君 小林君 鯉淵さん

中山君
野田さん・・

葉月さん
不破さん
細野君・・

アナル
調教中

先生
イメチェンですか？
似合ってますよw

ありがとう・・

向井君・・
ハイハイ
ここにおりますよ

ピッ

翌日・・向井が用意した
露出度の高い服を着て
登校するように命じられた
服装のあまりの変わり様に
生徒や他の教師達の好奇の目に
晒される事となった・・・

それじゃあ出席を取ります・・
相田君 稲本君 石田さん
井上君 大谷さん 川上さん
岸本君 小林君 鯉渕さん

中山君
野田さん・・

葉月さん
不破さん
細野君・・

アナル
調教中

先生
イメチェンですか？
似合ってますよw

ありがとう・・

向井君・・
ハイハイ
ここにありますよ

ピッ

今日はちよつと趣向を
変えてやろうか先生
見えないといつもより
興奮するでしょ？

そ・そんな事
ありません！

そんな事言つて

マ○コトロトロじゃん

早くチ○ポ

ハメてほしいんでしょう？



チヨーキモチイイ
これが先生の
オ○ンコかあ

バーカ
声出すなって
言っただろw
まあ別にいいけど

その声は田中君！
何で貴方がここに!?

コイツ童貞でさあ
先生でもいいからって
言うから俺が呼んだの



約束が違うじゃない！
貴方達だけって・・・

俺達つてのは3-B
全員つて事だぜ？
当然じゃんw

そんな！

あゝ出る出る！

先生ゝ中に出すよお！！

ピル飲ませてるから
どんどん中出し
してやってよw



うわ・・
ズリセンこくより
すげー濃いいの出たw

これで静かになった
ホラホラ童貞諸君
遠慮なく肉オナホで
筆おろししてよw



先生の中・・・
スゲー暖けえ
チンコに先生のが
絡み付いてくる

あつダメだ
もう出ちゃうよ先生
俺のを受け止めて



あー出した出した
もう出ねーわw

俺もさすがに
もう無理だわ

良かったな先生
可愛い生徒達に
女の良さを教えられて
教師冥利に尽きるねw

先生筆おろし
ありつしたw

また明日も来るから
よろしくーっすw



先生だいぶ
うまくなったね
俺一分持たないわw

そりゃあ
昼休み時間内に
何人もの精処理しなきゃ
いけないからなあw



さあ先生の大好きな
スペシャルメニューの
ザー飯ですよ

ホラホラ先生
いつものお礼の
言葉は？

皆様の御好意により・・・
かけて頂いた・・・
スペルマソースに感謝し
食べさせて頂きます



よしいいぞ
よく味わって食べるよ
食べ終わったら
ちゃんと皿を舌で
掃除するんだぞ

ホラどうしたんだよ
遠慮無く食べるよ
俺達のザーメン
無駄にする気か？

ハイ頂きますう



トゥルル・・・

愛しの旦那様から
携帯にかかつてきてるぜ
出させてやるよ

もしもしアナタ
元気にしてる？

ああ元気だよ
君は大丈夫かい？
今何してるんだい？

今食事中よ

トロロ、飯食べてるの

そうか・・・いいなあ

こっちはコンビニの

弁当ばつかりだよ・・・

早く君の手料理を食べたいよ

ズズ・・・

クチャクチャ

ガズ

グッ

ズッ



早く帰って来て・
そうしたら腕をふるって
美味しい料理をたくさん
食べさせてあげるわ

僕も早く帰りたいさ
早く帰って君を・

ええ・分かってる・
私もよアナタ・
来月の私の誕生日には
きつと帰ってきてね

ああ分かってるよ
君の誕生日には
必ず帰るから・
それじゃあ・

ガチャ・

来月先生の
誕生日なんだ
それなら俺達で盛大に
祝ってやらないとなw



先生への誕生日プレゼントは
種無し旦那の代わりに
俺達が代わって
妊娠させてあげますw

だ！ダメよそんな!!
今日は危険日なのに！



誕生日会に来れなかった
みんなも公平に
先生に種付けできるように
みんなの種付け汁も
ちゃんと持って来てやったぜw

こ・これを私の子宮に
流し込むつもりなの!?

あれ?嫌なの?
それじゃあチャンスをあげるよ
目隠しして誰のチ○ポか
当てる事ができたら
旦那様が待つ家に帰っていいよ



それでは！

「しゃぶってしゃぶって

誰でしょね？」

スタート!!

グッ

誰かしら？
気持ち良かったら
声出してくれても
いいのよ♡

皮を被ってる・・・
それにこの蒸れた臭い・・・
仮性じゃなく真性だわ
斉藤君かしら・・・？
いや・・・和田君かも・・・

ロ...

グッ

おおっと！
大きく口を開けて
一気に根元まで
くわえ込んだ!!

喉の奥まで入ってる
これは和田君？
でも奥に当たる
カリの感じが・・・

ニャ

グッ



そんなのいいから
ちゃんとしゃぶれよ
ババア！！

さあさあ僕達のチ○ポを
区別できなかった先生には
予定通り皆の種付け汁を
プレゼントw

あへおあ
中ニヨンぽ



ここにいる奴のは一周した？
じゃあ今日参加できなかった
奴の精子達も先生の
種付けに参加させてやるかw





それじゃ
種付け汁追加
入りまゝすw

い・嫌ああああ
止めてお願いだから！



先生遠慮せずに
欠席した奴等のプレゼント
受け取ってやってくださいw

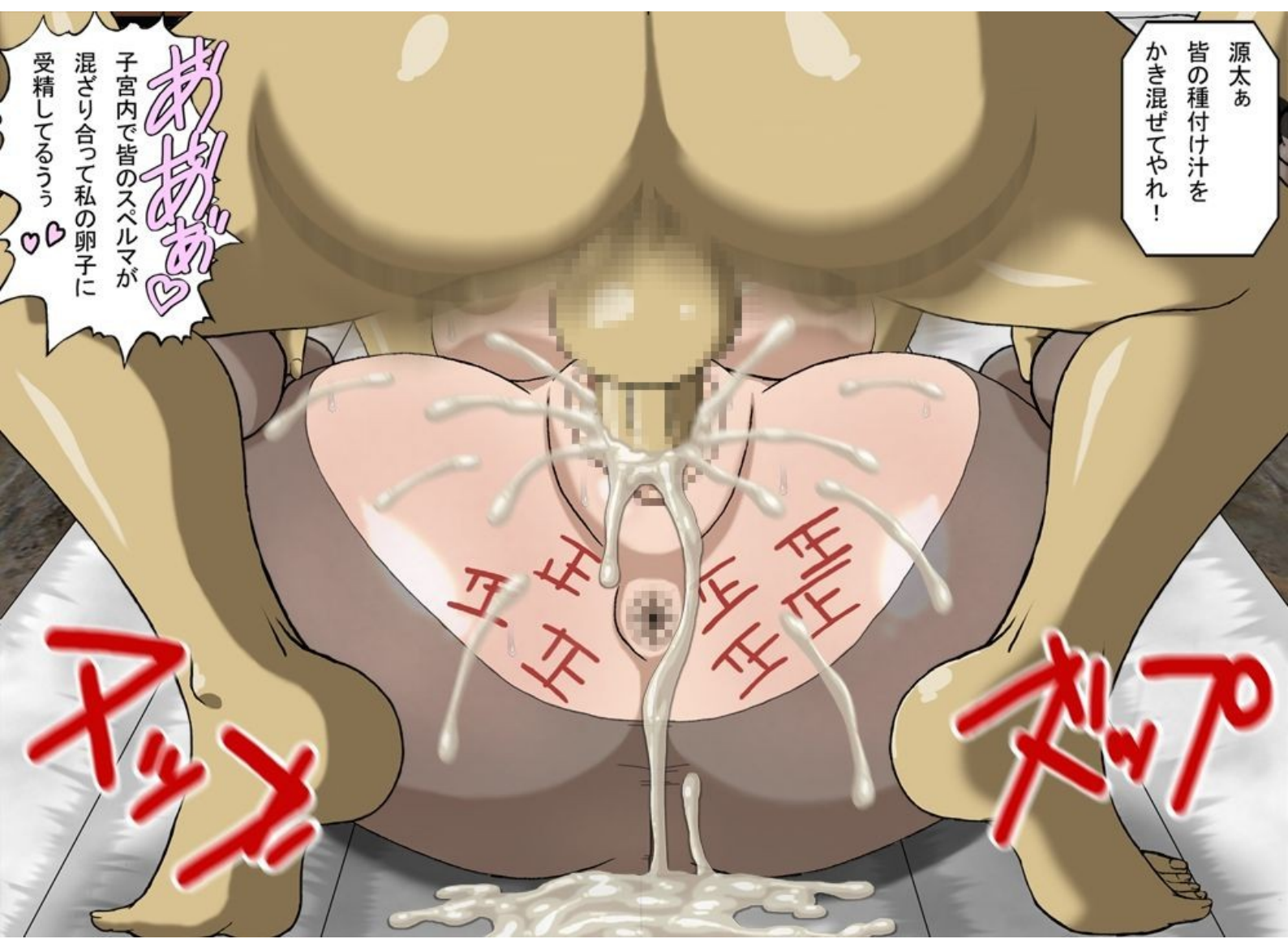
あへあへ
みんなのスペルマが
注がれてるのお♡

源太あ
皆の種付け汁を
かき混ぜてやれ！

おおおお♡
子宮内で皆のスペルマが
混ざり合って私の卵子に
受精してるぅ♡

アッ

アッ

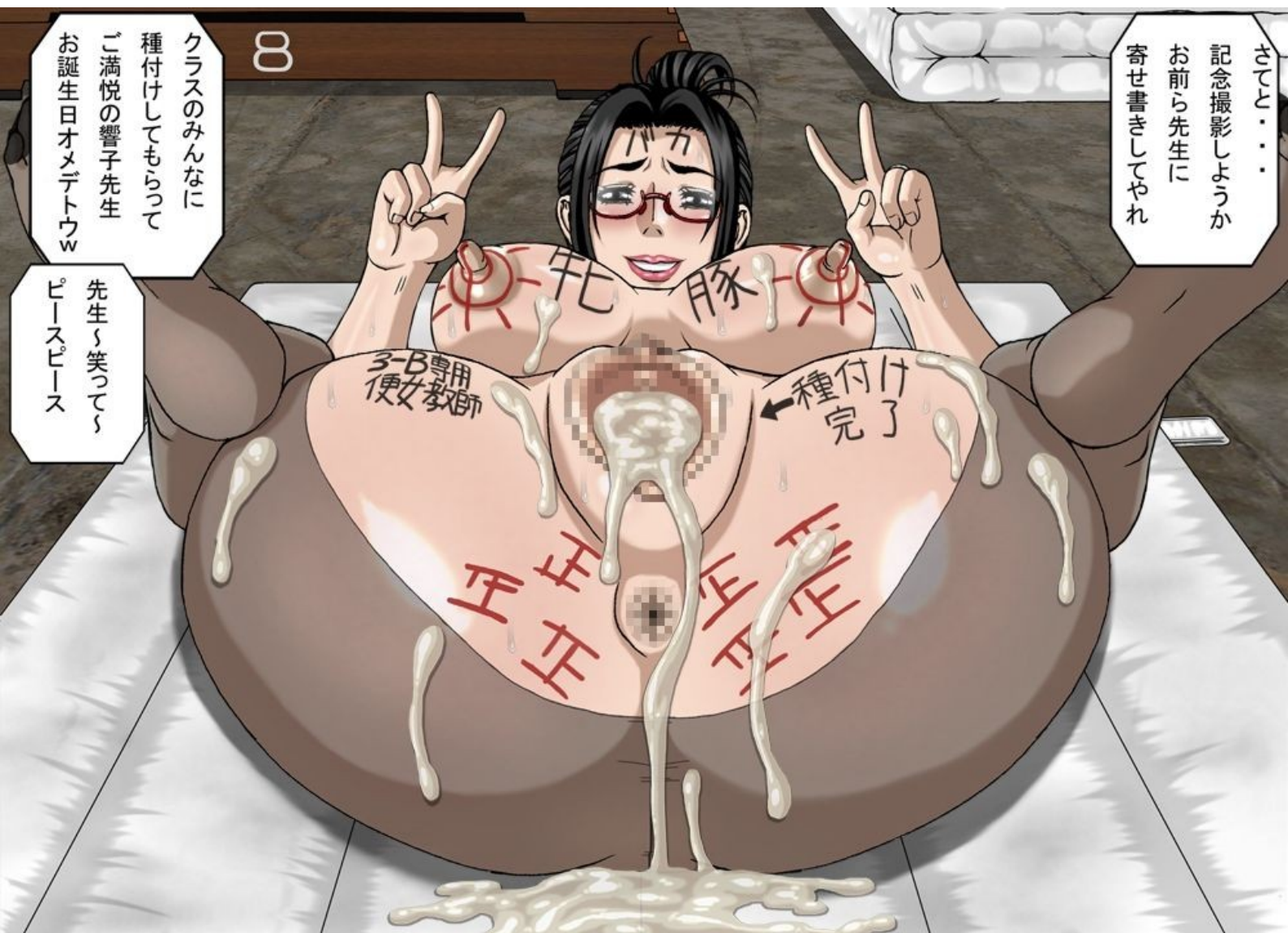


さてと・・・
記念撮影しようか
お前ら先生に
寄せ書きしてやれ

8

クラスみんなに
種付けしてもらって
ご満悦の響子先生
お誕生日オメデトウw

先生、笑って、
ピースピース



おっ先生の
旦那から電話だ
もう家に帰って
来たんじゃないの？

あらアナタ？
もう家に着いたの？
え？今日も帰れない？

今日は私の・・・
そう・・・分かったわ：
いえ・・・いいの・・・じゃあ
お仕事がんばってね・・・

ガチャ・・・

あれ？旦那さん
帰ってこないの？
先生可愛そうだなw



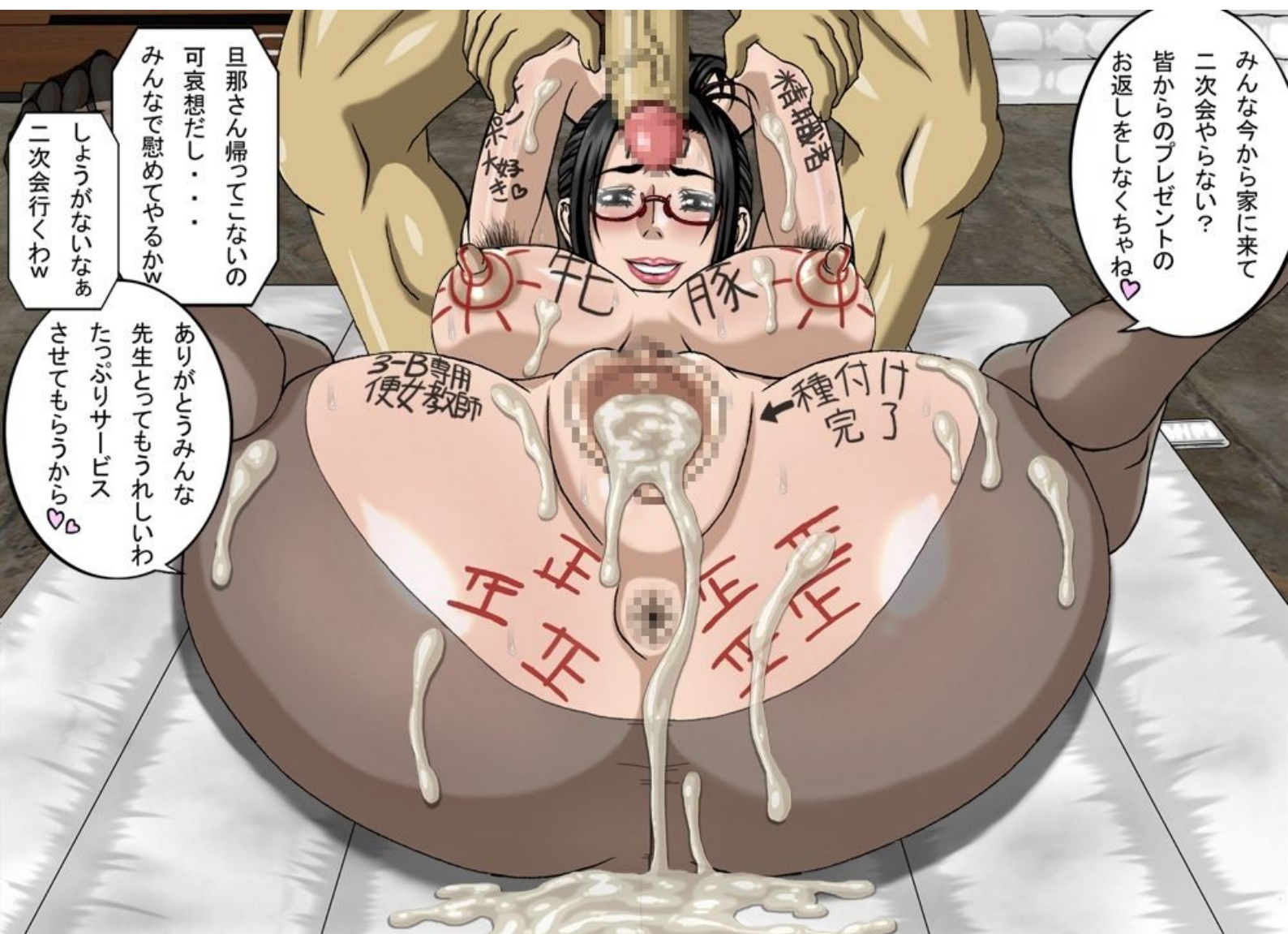
みんな今から家に来て
二次会やらない？
皆からのプレゼントの
お返しをしなくちゃね♡

旦那さん帰ってこないの
可哀想だし・・・

みんなで慰めてやるかw

しょうがないなあ
二次会行くわw

ありがとうみんな
先生とつてもううれしいわ
たっぷりサービス
させてもらうから♡





先生、
愛しの生徒達の種汁を
嗅ぎながら
犯されるのは
どんな気分ですか？

サイコ
ヤミ

あはは
あはは

3-B専用
便女教師

種付け
完了

正
正
正
正
正
正

結構似合ってるじゃん
みんな先生を見てるぜw

ちょっとアレ
響子先生じゃない？

ひそ

は・早く
行きましょう・・・

勘違いババアが
こんな格好すれば
そりや見るわな

ひそ
息子の担任だわ
なんて恥知らずな
格好なのかしら・・・

せっかくだし
町内もう一周
しようぜ

ひそ
いやゝねえゝ
あんなのが教師
だなんて・・・

ギョルル

そんなに
糞垂れたいんなら
近所の人も見てるし
ここやれよ

駄目よ！
そっそんな

アナル
調教済
浣腸済
正丁

しょうがないなあ・・・
漏らしやすくなるように
パイプを「最強」に
してやるよ

グ
グ
グ

あらはあ
めえ♡

さあさあ皆様方
今から現役教師の
脱糞シヨ一を
御贈りします

学生の頃
憧れだったのに・

ゲラゲラ

クスクス

いいぞババア
早く糞垂れろ！

皆様・・・
私の生徒達がお世話に
なっております
今日は生徒に成り代わって
お礼をさせていただきます♡

まずは皆様の前で
排泄させていただきます
どうか皆様
ご嘲笑して下さいませ♡



うわ！

「コイシマズで」

ひり出しやがった!!

マジキチw

最悪だなw

あーんふー
あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー

うわ・

きつたねえ！

濟腸浣
正丁

ムリ

あへ
あ
あ
あ

1週間分のウンコ

出て来たわあー♡

目にしみるw

クッセエw

うわっ汚ねえw

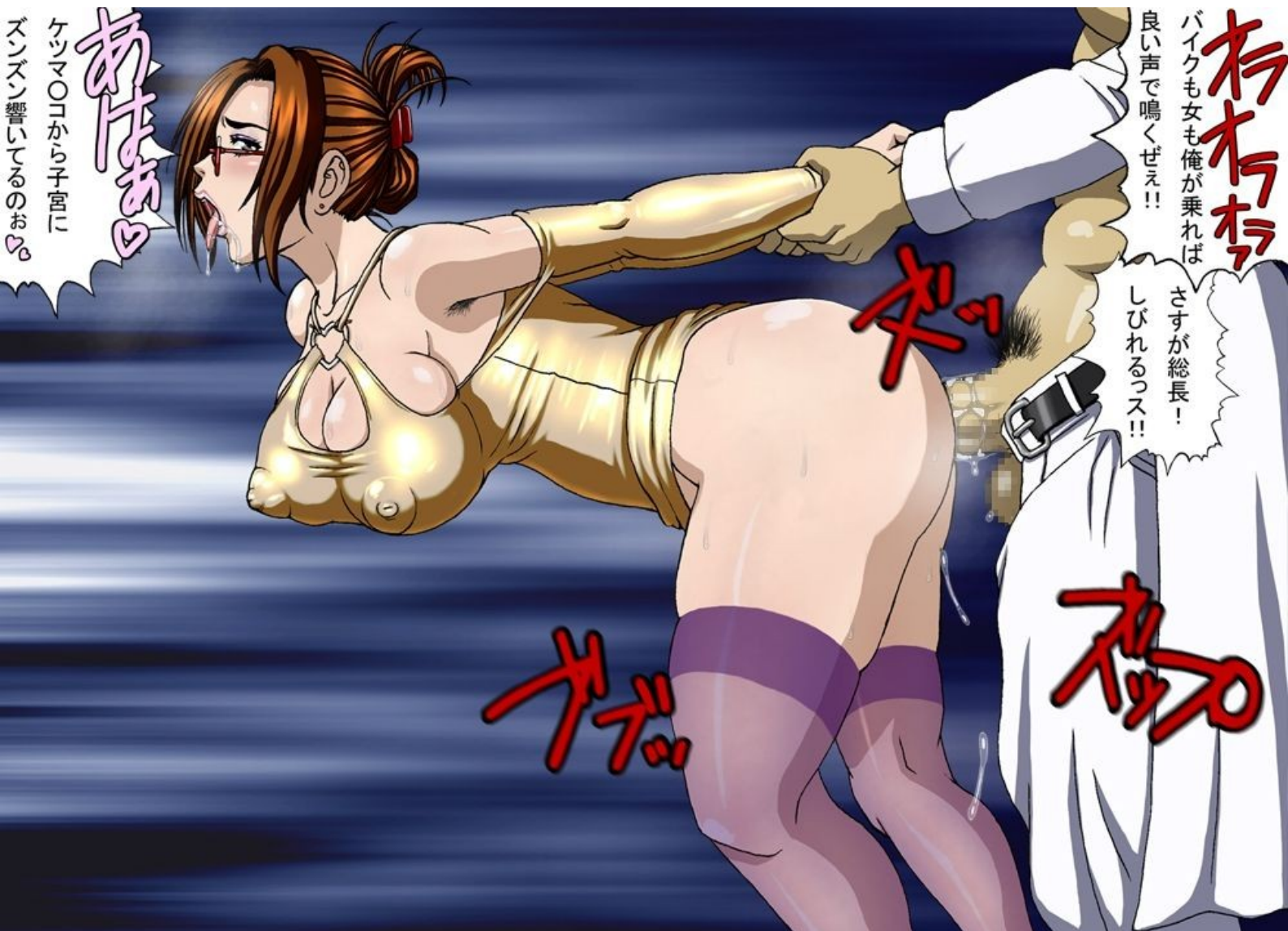
うわ！クッセエ!!
何喰ったらかんなに
臭くなるんだよ!!

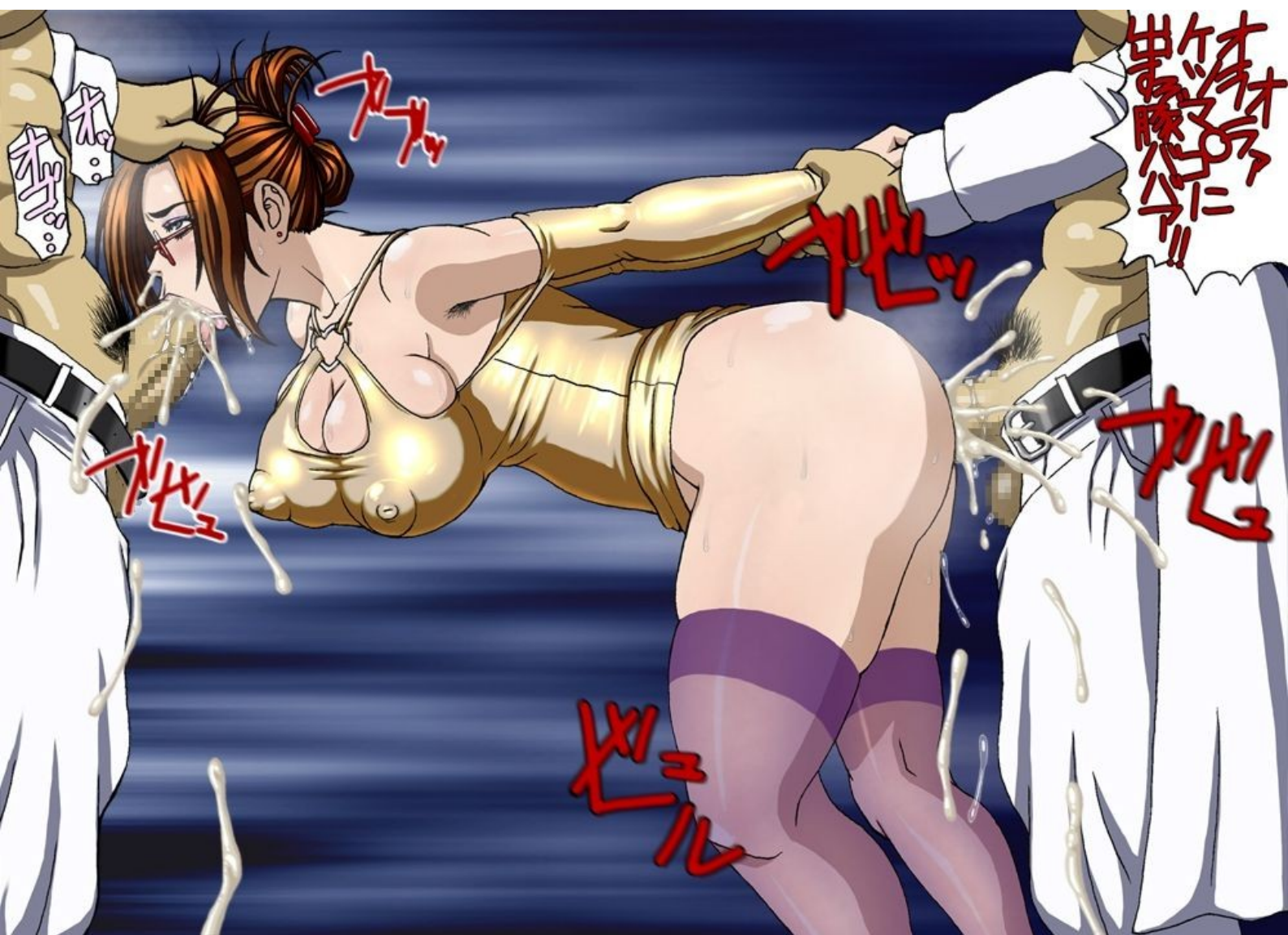
うっわ!
マジ臭せえ!



ヤリ

ブリ







アハ 踊れ
踊れ 踊れえ!!

あ?

あ?

あひ?

牝豚セコー
腰振って
踊れ 踊れ!!

ニギ

ズ

ズ



もとど気合を入れて
揺られよ
バアア!!

おっ♡

おっ♡

おっ♡

おほまう
イグイグら♡

ニャー

ズン

ズン

おい！テメーら！！

そろそろ走りに行くぞ！

気合入れて行くぜ！！

総長！このババア

まだチ○ポ汁欲しがって

ますぜ！

あは

もっ

千○ポ汁
ちょうだい♡

しょうがねえババアだな！

そこら辺に落ちてる

コンドームのザーメン

このメス豚にぶっかけてやれ！！

押忍！



これでいいかババア？

あと来週に他のチームと

親睦会あるからお前も来いよ

皆で可愛がつてやるからよお！

おは

千のす

いっばい
なのお

来週もここで集会あるから
コ片付けといてね
特に響子がひり出した
ぶっ太いウンコとかさw



あらアナタお久しぶり
え？家に帰ってきてる？
ごめんなさい今生徒達と
卒業旅行に来てるのよ

アナタはお仕事
忙しそうだったから
連絡するの悪いと思って
ええ・・・

え？旅行の日程？
特に決めて無いけど
なるべく早く
帰る事にするわ・・・

妊娠オメデム

ヌル

グッ

フフ・・帰ったら
アナタがビックリする
話があるのよ

んっ♡

んっ♡

フフフ・・ナイショよ
旅行楽しんでくるわ
それじゃあ・・
プツ・ツーツー



旦那に俺達の子を
孕んだって
教えてやるのか？

夫婦の子供って言うわよ
血液検査したら
旦那と同じB型だったし
ばれっこないわ

向井君もBだったわね
貴方の子かもよ♡

ヒデー女だな
響子はw

私がこんなに
ふしだらな女になったのは
貴方達のせいなんだから♡

あはあ♡
ケマロクアエ♡
♡♡

あ♡
おほ♡

あ♡

子供を産みました
3人の皆の

妊娠オメデム

グズグズ

グズグズ

投稿者（怒羅餌紋）

初投稿の怒羅餌紋さん

なんとこの女性は、某有名私立の
〇校の現役女教師。

旦那様が単身赴任で留守なのを
いい事に、生徒達を自宅に連れ込み
彼等に自らの体を使って、性教育の
授業をしているとか。

SEX授業の最中に、単身赴任中の
旦那様から突然の電話。

電話の最中、貞淑な妻を演じているが
腰の動きを止めるところか、
さらに腰を激しく振りイキまくりの
変態女教師K子さんでした。

下の写真は童貞の生徒達を自宅に集め、
生徒達の筆おろしをしている様子です。
生徒達がなんともうらやまけしからんです。



生徒達の精液が詰まったコンドームをくわえ
ご満悦のK子先生。





投稿者 (怒羅餌紋)

またまた怒羅餌紋さんからの投稿です。
K子先生のお誕生日種付けパーティーの様子です。
目隠しされ生徒のチ○ポをしゃぶる先生
誰のチ○ポか正解しないと、誕生日プレゼントの種付けはお預け。
種汁ほしさに必死にヒョットコフェラで生徒のチ○ポをしゃぶるK子先生。
なんとかクイズに正解しクラスの男子生徒全員の精液を子宮に流し込まれ
ウツリのK子先生。この後自宅にて二次会を盛大に開催されたようです。
K子先生お誕生日おめでとうございます。



今では怒羅餌紋さんの女になったK子先生。
彼の頼みは何でも聞いてしまうそうです。
彼にイチジクカンチョウ七個と
オマ○コに電動バイブを注入され、
近所を徘徊するように命令されるK子先生。
この後、怒羅餌紋さんが所属している
暴走族の集会で、少年達の前で脱糞ショーを
披露したとのこと。罵声と嘲笑の中
彼女は脱糞アクメをキメたとかw
またの投稿をお待ちしております。

投稿者（怒羅餌紋）

皆さんお待ちかねの怒羅餌紋さんです。

怒羅餌紋さんが所属している暴走族の集会に彼女を連れて行き、メンバー全員で犯しまくったとのこと。

それでも彼女は犯され足りないのか、「もっと～チ○ポ汁う～」うわ言のように要求
床に落ちている精液がたっぷりと詰まったコンドームの中の精液を彼女の全身にぶっかけてやっと満足したとか。
全身精液まみれで、ムンムンと蒸気が立ちのぼってますねw



右の写真は旦那様にはナイショで生徒達とハメまくり卒業旅行の様子。
旅行先では、K子先生の露出写真撮影やキャンプ場で他のキャンパー達と、乱交パーティーを繰り広げたとか。

そして・・・・・・・・・・。
なんとK子先生、とうとう妊娠しました！
お腹の中の子供の血液検査をしたら、ラッキーな事に、旦那様と同じ血液型。
彼女は父親が生徒達の誰か分からない子供を旦那様と自分の子供として、育てるとか・・・女って怖いですねw
何はともあれ妊娠オメデトウございます。



隷従女教師

あとがき

ボフウ！もうそうです！荒々しく登場してみましたよ！！
今回は人妻NTRモノでしたが、どうでしたでしょうか？
インテリ女が牝に堕ちるってのが好きでして、描いてみましたよ。
もうちょっと細かく過程を描けたら良かったのですが・・・
誕生日と暴走族の集会に、結構な枚数割いちゃったんで、出来ませんでした。
次回はもうちょっと、ねちっこく描ければ良いなあと思いますよ。
でわでわ良きオナヌーライフを～。

発効日●2012年9月14日

発行元●マニまにあ

著者●もうそうくん

連絡先●mousoukun@hotmail.com

URL●<http://www.mizuki.sakura.ne.jp/~manimani/>

この本の無断転載・転用・
再配布を禁じます



彼等が卒業するまでの間、私が我慢すればこれまで通りの生活が戻ってくる・・・。

それに、今は主人に余計な心配をかけたくない。

主人が今、取り組んでいる大きなプロジェクトが成功すれば、

左遷された主人が、また本社に戻って来る事ができるかもしれないのだから・・・。

私さえ我慢すれば・・・また二人で・・・生活できる・・・

もう・・・何週間も帰ってこない夫を持つ生活は終わる・・・。



生徒達の蔑みの視線が私の体に突き刺さり、私の体が火照りはじめた。
教え子達の視線と時折向井が操作する。性器に挿入された何個ものリモコンパイプの振動も相まって、私の性器から愛液がトロトロと溢れ出し、ショーツをぐっしりと濡らし内股を伝って下へと流れ落ちて行く。
リモコンパイプのスイッチが入る度、私の体はピクンと敏感に反応し、その反応を向井達は楽しんでいた。
「先生大丈夫ですか？さっきから様子変ですけどw」
「ええ・・・ちょっとイメチェンで薄着しちゃったから、風邪ひいちゃったみたいなの・・・
なれない事はやらない方が良いわね・・・明日からは、今まで通りの格好にするわね。」
今の状況を誤魔化すのと同時に、この格好を明日から止めるきっかけを作る為に向井にそう答えた。
「え～先生似合ってるのに～明日からもエロい格好で学校来てくださいよw」
「で・・・でも授業に差支えが・・・。」
「皆も先生のこの格好、いいと思うよ？」
向井の問いかけに他の生徒達も、皆口々に言った。
「先生すごく良いですよw」「勉強に身が入るしマジでw」
「皆も先生のイメチェンに賛成なんだから、明日からもよろしくお願いしますよ セン・セ・イ。」
向井の口調は冗談めかしているが、彼の冷徹な視線は私を伺視していた。
これ以上彼に逆らったら何をされるか・・・もっと酷い事をされかねない・・・。
「わ・分かったわ・・・皆も気に入ってくれているみたいだし・・・
その代わり皆もちゃんと勉強するのよ。」
私は、向井に抱いた恐怖を押し殺すように冗談っぽく答えた。
私の心を見透かすように向井の目はじっと私を見つめていた・・・。





当初、放課後に私の自宅に来て、精処理を要求していた生徒達が、この頃になると、就業中の校内で精処理を要求してくるようになった。私は昼休み時間になると部室や体育倉庫などに呼び出され、クラスの生徒達の精処理を強要された。初めはクラスの生徒達だけだったが、噂を聞きつけた他のクラスの生徒達も、やって来るようになり、私は口止めの為に、彼等の相手もせざるを得なくなった・・・。



私の食事は制限され、食事のたび向井に許可を取る必要があった。
食事は彼等の残した弁当などの残飯に、
彼等のザーメンをかけられた、スペシャルメニューと称した「ザー飯」なる物が出された。
もちろん私は食べるのを拒否した。 そんな私に向井は言い放った。
「良いんですよ別に食べなくても・・・強制はない。」
でも、これ以外は食べさせないよ・・・俺達に先生を見張っている事を忘れずに・・・」
その日から常に交代で私を監視する2～3人の生徒達がいた。
こっそり学校を抜け出しコンビニでサンドイッチを買いに行ったが、
帰る途中に彼等に囲まれてサンドイッチを没収された。
空腹のために、お腹は常に「キューキュー」と鳴り、頭がぼーとするようになった。
「ダイエットですか？ いけませんなあ～そんな調子じゃ授業に差支えがありますよ。」
と他の教師から嫌味を言われた。



私はあまりの空腹に負け、ソレ（ザー飯）を食べた。
地べたに置かれた皿に顔を突っ込み舌を皿に這わせ舐め取った・・・まるで家畜のように・・・
自分が人間であることを否定されたような醜く惨めな気分だ・・・



しかし時が経つにつれ、私の中の人間としての尊厳が次第に麻痺して行き、
ソレを食べる事に何の抵抗も無くなった・・・・・・
早く帰ってきてアナタ・・・私が私でなくなる前に・・・・・・

「それじゃ始めようか、先生のお誕生日会。」



お願い：
声を聞かせて
お願いだから

アアアア

ま・待つて
今答えるから！

アッ
アッ

ホラホラ先生
早くしないと
中に出しちゃうぞ！

グッ

そんなのいいから
ちゃんとしゃぶれよ
ババア！！

（その声は
ふおのふおえは
田中君）
ふあふあふん！！

ズズ

アッ

先生何言ってるか
分かりません！
中出し決定！！

グッ





小早川家宅にて

「先生の胸に愛しの生徒達、手の中を握りかかっていたなんてでせよな〜。」
「うね〜。愛しの生徒達なのに手の中が冷たいでも、味や形でも分かったな〜。・・・
一人一人ちゃんと覚えてるから、たくさん手の中がハマって先生にもう一度練習させてあげたい。
わいっ！皆手先生は勉強熱心だな〜。しょうがない今日は徹夜で練習だ！
おみなさん先生の為に一眠りしてやらせよ！」
私の夜教師練習は朝まで続けられた・・・

[illegible][illegible]

37 日後その1

向井君が日頃お世話になっている、先輩が総長をやっている暴走族の集会に出席し、皆様を接待をするように言われた。

ネットショッピングで彼が選んできた、シャンパンゴールドのボディコンに身を包み彼の好みのまるで娼婦のような、濃いめのメイクをした。

鏡に映る私は、一ヶ月前の夫の帰りを待つ貞淑な妻の顔ではなかった。

この寝室も孤独の中、主人の帰りを待つ部屋ではもう無い・・・。

向井君と二人っきりで愛し合う特別な部屋・・・。

私は鏡に映る変わり果てた自分の顔を見ながら、あの頃にはもう戻れないと思った。

「響子そろそろ行くよ。」彼が寝室の入り口から声をかけた。

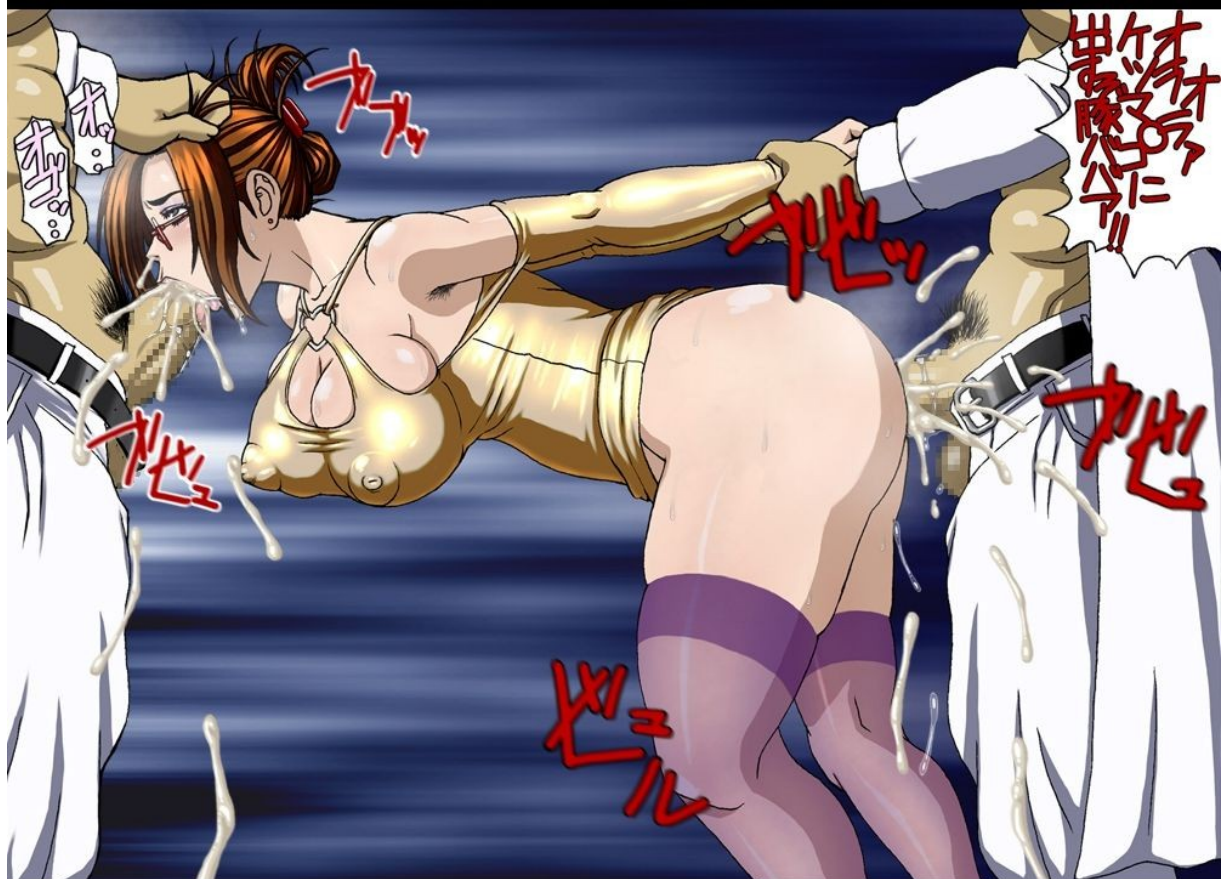
「あっハイ今行きます。」

いえ・・・私はもう・・・あの頃なんかに戻りたくない・・・。





武井は、排便したての拡がった私のアナルに、自分の巨大なペニスを強引にねじ込んだ。
腸液でヌルヌルの私のアナルは、彼の巨大なペニスを難なく飲み込んだ。
彼は私の両腕を後ろ手に取り、立ちバックの体位で激しく腰を振り私を犯した。
私はまるで総長の彼がまたがるバイクのように見立てられた。
肉と肉がぶつかり「パンパン」とリズムカルに音が響く。



「総長！俺もこの女の味見させてくださいよ。」「ああ口でも使ってやれ。」

男のペニスが私の口を塞ぐ。こみ上げる吐き気を耐えながら、彼のペニスを喉奥まで受け入れる。

「す・すげえ！この女！喉で俺の子○ポをしごきやがる。」

呼吸が制限され、まるで豚のように鼻息荒く男のペニスにしゃぶりつく私を見て、

武井は「豚みたいだな先生w」とゲタゲタと笑った。



「おい越野！いつものトランス系の曲流してくれ。」「ハイ総長！！」
 しばらくすると車のエンジンがかかる音が聞こえ、重低音の効いた曲が流れてきた。
 「オラ！牝豚センコー、俺のチ○ポハメたまま踊って見せろ。」
 「アハハ踊れ踊れえ！！」「牝豚センコー腰振って踊れ踊れ！！」
 罵声とサイケデリックトランスの鳴り響く中、
 私はリズムに乗って、腰を激しくグラインドした。
 その度に電流が、子宮から脊髓を通り頭に突き抜けて行く。





アレからどれくらいの時が経ったのだろう・・・。

私は何十人もの少年達に、代わる代わる犯された。

何度も私は絶頂に達し、気を失ってビクンビクンと痙攣していても、彼等は私を犯し続けた。

気が付くと私は、ヴァギナから大量のスペルマを垂れ流していた。

でも・・・足りない・・・まだ・・・もっと・・・もっと・・・。



「あはあ・もっとお・チ○ポ汁ちょうだい。」

総長が何かを叫んだ、すると少年達は私の周りに落ちている、

彼等のスペルマが入ったコンドームを破き、中のスペルマを私にかけた。

私は全身スペルマまみれとなった・・・立ちあがるスペルマの蒸気・・・。

「あはあ・チ○ポ汁う・・・いっぱいなお・・・。」

むせ返る汗とスペルマの臭いの中、私はアクメの余韻に浸った。

